

# 善養寺便り

第十四号

平成二十九年五月号

発行 善養寺

## ◆二十八年度仏教婦人会第四回仏教講演会

三月八日（水）午後一時半より、二十八年度仏教婦人会第四回仏教講演会を開催しました。ご講師は、今回で三回目となった、貝塚市正満寺住職で本願寺派布教使でいらつしやる安方哲爾先生でした。先生のお話はいつも分かり易く、説得力のあるお話です。ほんの少し紹介します。

私たちは、命終わって浄土に生まれるということが、実は少々わかりにくい。しかし、阿弥陀様は私たちがわからないということもご存知である。阿弥陀様は、お浄土に生まれることをわかかれとおっしゃっていない。阿弥陀様は、わたしの声を聞いておけとおっしゃった。あなたを救うから聴いておきなさいとおっしゃった。阿弥陀様がこの私の身に届いてくださるのを聴いたか聴かないかを問題にするのが浄土真宗である。

以上のような話ではじまりました。「聴く」とはどういうことでしょうか。今後のご聴聞でお味わいください。



この伝統奉告法要も、あと五月九日と十六日、五月二十四日と三十一日とわずかになりました。個人でも参拝できますので、今回参拝できなかった方は是非本願寺までお参りしていただきたいと思えます。ちなみに「京都鉄道博物館」も鉄道好きなら、子供も大人も十分楽しめると思えました。

ところで、「帰敬式」とはいわゆる「おかみそり」の儀式で、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮を送ることを誓う、大切な儀式です。帰敬式を受式され、仏弟子となった方には本願寺ご門主さまより法名が授与されます。受式には本願寺への懇志が必要ですが、どなたでも受式可能ですので、皆様も帰敬式を受式し、共にお念仏を喜ぶ人生を歩みましょう。

## ◆善養寺墓苑春の彼岸会法要

三月二十日（月）善養寺墓苑にて「彼岸会法要」を勤めました。当墓苑は、平成十九年に大整備をし、翌年お名号碑を建立してから、毎年三月のお彼岸と八月のお盆に法要を勤めています。

「墓じまい」という言葉が昨今聞かれます。様々な事情があると思いますが、お墓参りは故人やご先祖を敬い、私がお念仏申す身であることを自覚することにつながってゆく機会でもあります。



## ◆姫路中組「本願寺第二十五代専如門主

### 伝灯奉告法要」団体参拝

三月十一日（土）姫路中組として、「本願寺第二十五代専如門主伝灯奉告法要」に参拝しました。善養寺はバス一台を貸し切り、四十三名での参拝でした。

当日朝七時に善養寺に集合し（山下の方は山下で六時半に集合）山陽道、中国道、名神高速を経て京都に入り、十時からまず「京都鉄道博物館」を見学し、その後リーガロイヤルホテルにて昼食バイキングをいただいた後本願寺へ移動し「伝灯奉告法要」に参拝しました。午後はやや寒くなりましたが天気も良く、内陣正面の席で法要に参拝できました。法要は、今回の法要用に作られた雅楽とオルガンによる荘重かつ美しい旋律とともに、正信偈をお勤めました。

法要の様子は、本願寺のホームページで、期間中のみライブ中継をしていますので、そちらをご覧ください。

法要後は、「帰敬式」を受けられる方と、「龍谷ミュージアム」の見学に分かれました。五時過ぎに本願寺を出発し、善養寺へは夜の七時過ぎに到着しました。皆さまお疲れになったと思いますが、よいご法縁に出逢うことができました。良かったとおっしゃいただきました。



善養寺墓苑ではこのように年二回法要を勤め、また墓苑内の「永代納骨塔」では、毎月お勤めをしています。新しいお墓も増えています。

今年の春の彼岸会法要も晴天のもと多くの方がお参りでした。春の彼岸会と夏の盆会は当山にとりまして、とても大切な法要です。

【次第一、御名号碑前読経 「三奉請」（さんぶじょう）

「表白」「仏説阿弥陀経」読経 参詣者焼香

一、行道「讚仏偈、重誓偈」の読経により墓苑内を行道

## ◆平成二十九年年度善養寺永代経法要

四月十九日（水）、二十日（木）の二日間、今年の「永代経法要」を勤めました。

「永代経法要」は、各寺院の門信徒で、その年に一周忌から五十回忌をお迎えする方のために、お寺でお勤めをし、寺院護持に尽力された方をしのぶ法要です。故人の年忌を機縁として仏縁に遇わせていただく、真宗のお寺にとりましてはとても大切な法要です。

両日とも天候に恵まれ、本堂も満堂となりました。お説教の講師は、昨年に続き大阪市瑞松寺住職で、本願寺派布教使である野村康治先生でした。



いつもながら、とても分かり易く大変よいお話でした。なかでも、本堂の大屋根、本堂の入り口、内陣のお荘厳、そして各家庭の仏壇には「阿吽<sup>あうん</sup>」をかたどった様々な像や飾り模様があるという話は目から鱗のお話でした。「阿吽像」は運慶快慶の仁王像や、神社の狛犬がよく知られていますが、阿吽で生と死を表現しているとも言われます。



四月のことは  
生きているということとは、  
死ぬいのちをかかえているということ

東井義雄

仏婦總會ゲストの兵庫県立福崎高校ギターマンドリン部は毎年全国大会に出場しています。どうぞお楽しみに。

九月には、桂雀々さんが再びお越しです。

昨年以上に、もっともっと多くの方におてらくごに来ていただきたいと思えます。

### ◆姫路中組よりお知らせ

#### 「姫路中組キッズサンガ」

日時 八月二十三日（水） 十時～十六時

場所 光源寺

内容 子供の仏教まつりです。お経のクイズ、ゲームや工作、食事などの楽しい会です。夏休みの思い出づくりには是非参加してください。後日改めて募集します。

#### 「姫路中組聞法大会」

日時 九月九日（土） 午後開演

場所 姫路市文化センター大ホール

講師 天岸浄円師

会費 無料 中組のすべての門信徒の方、

また一般の方も対象です。

一五〇〇席が埋まるようどうぞ皆さまお聴聞にお出かけください。

### ◆平成二十九年（土）午前十時半から

「善養寺仏教婦人会總會並びに  
第一回仏教講演会」

講師 安堂芳雅師（宇治市）

ゲスト 兵庫県立福崎高校

ギターマンドリン部

七月七日（金）午後一時半から

「第二回仏教講演会」講師 谷川弘顕師

八月十三日（日）十八時より

「善養寺墓苑盆会法要」 善養寺墓苑

八月十五日（火） 十時より

「盆会法要」 善養寺本堂

九月二十三日（土）

第2回「善養寺おてらくご」

桂雀々さん再来坊！

十一月一日（水）二日（木）

「報恩講法要」

講師 栗原一乗師（三原市）

十二月 第三回仏教講演会

十二月十四日（木）講師 谷川弘顕師

### 「第二十期 連続研修会」

今年の九月十六日から再来年二〇一九年二月にかけて第二十期の連研が始まります。連研は、姫路中組の各寺院が会場となつて、浄土真宗の教義や作法を連続して受講する会です。詳細は未定ですが、こちらも近日中に募集をします。是非、是非ご参加ください！

### ◆善養寺ホームページ

当坊のホームページは、二〇一四年十二月に開設し、三年目に入りました。

五月三日現在のカウンント数（累積閲覧数）は4012です。

法要、行事は出来るだけ早く載せていきます。

門信徒の方で、当坊のHPとリンクしてもよい方があれば、どうぞ教えてください。また、こんなことを載せてほしい、載せたいのご意見があれば合わせてお願いします。ホームページに関するご意見、ご要望等をお待ちしております。

<http://zenyouji-himeji.jp/>

姫路 善養寺 で検索